

広島市植物公園 見どころ案内

アメリカリノキ アナベル
(アジサイ科)
北米原産のアジサイ。純白の花は大きく、育てやすいことから庭植えにお勧めです。

展示会のご案内

- ◇屋外展示場 (5/30~6/21)
アジサイ展
- ◇展示温室 (6/24~7/12)
夏のカラフルリーフ展
- ◇展示資料館 (6/10~8/6)
むし・花・Zoo-Zoo 写真展

オトメギボウシ (キジカクシ科)
ギボウシのなかまの中で、もっとも小型で早咲きの種類です。韓国済州島が原産とされています。山野草として人気があり、斑入りや覆輪などの品種もあります。

プルメリア
(キョウチクトウ科)
熱帯アメリカ原産の常緑低木で、タチチやハワイなどではこの花が好んでレイに使われます。初夏から秋にかけて開花します。

カシワバアジサイ
(アジサイ科)
北米原産のアジサイで、花穂はピラミッド型で豪華です。

キササゲ
(ノウゼンカズラ科)
和名は木になるササゲ豆から。果実には利尿作用があります。古い寺社に植えられているのをたまに見かけますが、これは樹高が高く、水分を多く含むことから、「避雷針」としての効果も期待したものです。

シクンシ
(シクンシ科)
熱帯原産の大型のつる植物。5弁のきれいな花をつけます。咲き始めは白色で、次第に赤色が濃くなります。花には甘い香りがあります。回虫の駆除薬でもあります。

ムカゴコンニャク
(サトイモ科)
生子(コンニャクの子芋)ではなく、葉の脇についたムカゴで増えるこんにゃくです。大温室のゾウコンニャクも目覚めました。

フトモモ (フトモモ科)
熱帯アジア原産。名前は身体の太股ではなく、中国名の蒲桃(プータオ)が転訛したものです。沖縄では古くから栽培されています。実がついています。

クマノミズキ (ミズキ科)
三重県熊野地方に多く自生していたのが和名の由来ですが、本州以南に広く分布します。一つの花は小さいですが、まとまって咲くことで、昆虫を呼び寄せしています。

ポンテデリア (ミズアオイ科)
和名はナガバミズアオイ。アメリカ大陸原産の水辺の植物です。因みに、ホテイアオイも同じ科です。

オカトラノオ (サクラソウ科)
花穂の形を虎の尾に見立てていますが、虎の尾にしては小ぶりです。タバコが貴重な時代には、本種の葉が代用とされたこともあります。

